

第6期生の還暦同窓会開かれる

～懐かしい恩師の先生方とともに～

令和6年11月16日、第6期生の皆さんの学年全体の同窓会が、還暦（60歳）となるのを機に、横浜市内で開催されました。6名の恩師の先生方も含め、総勢82名の参加を得て、盛況だったという同窓会の様子や、開催に至るまでの流れなど、6期の幹事の皆さんに伺いました。【聞き手：森】



6期還暦同窓会

日時：令和6年11月16日(土)
午後3時30分～

場所：グレースバリ横浜関内

出席：第6期生76名
昭和58(1983)年3月卒業

出席された先生方：6名

2組担任 原木 克巳 先生

3組担任 杉浦 敏昭 先生

8組担任 吉井 友二 先生

10組担任 牧野 修三 先生

女子バスケ部 佐々木 悦子 先生

剣道部 太田 智之 先生

※ビデオメッセージで参加

4組担任 中山(杉浦)佳子 先生

—まずは幹事のお仕事、お疲れさまでした。今回開催された「還暦同窓会」について、どんな会だったのか、同窓会会員の皆さんにも是非お伝えしたかったのと、今後、「還暦」に限らず同様の会を開きたいとお考えの他の期の皆さんの参考になればと思い、インタビューをお願いすることとしました。どうかよろしく願いいたします。

幹事. この度は、6期還暦同窓会の開催にあたり、同窓会役員の皆様には色々とお世話になり大変ありがとうございました。2025年度金井高等学校創立50周年に向けて、先輩方・後輩の皆さんに私たちの経験が少しでも参考になれば幸いです。こちらこそどうぞよろしくお願いいたします。

—今年度、6期生の皆さんは還暦の年を迎えたわけですが、クラス会のような規模のものではなく、学年全体の会を開くことになったのは、どのような経緯だったのですか。

幹事. 2018年、2019年の2年に渡り、運動部出身者が中心になって小規模の同窓会を開催したのですが、コロナ禍の中でその流れが途絶えてしまいました。一昨年くらいから、その時の幹事をした仲間が集まる機会があり、その中で、「自分たちの学年は2024年が還暦の年なので、せっかくだからまた同窓会したいね。どうせなら出来るだけ多くの人に声をかけて“還暦同窓会”にしたいね。」という話になったのがきっかけです。

——幹事団のメンバーはどのような方達で構成したのですか。

幹事. 2019年の同窓会の時になんとなく中心になって声掛けや場所決めをした仲間が何度か飲み会などで集まり、そのまま勝手に幹事団になったという感じです。

——場所や日時の設定などはどのように考えて決められたのですか。

幹事. 実際、還暦同窓会を開催しようとしたのが昨年9月頃、本格的に動きだしたのが本年2月頃でした。その頃には、他校では1年以上前から綿密に計画しホテルなどを予約しているという情報も耳にし、少し焦り始めたのを覚えています。過去の経験からおおよその人数を想定し、幹事の一人から提案のあった会場を下見、会場の予約可能日や参加者のアクセス、準備期間を考慮してほぼその場で予約したという流れです。

——同期の皆さんにはどのようにして連絡を取ったのですか。6期生は539名の卒業生がいらっしゃるわけですが、どのくらいの方々に連絡することができたのでしょうか。

幹事. 今はSNSという便利なツールがありますので、2019年の同窓会の際に立ち上げた「金井6期」のライン・グループを活用し、今回、出来るだけ多くの方をグループに追加した上で皆さんにお声かけをしました。一方、メンバーの数が現在でも114名で、残念ながらお声掛け出来なかった方々が多くいるのも事実です。お誘いの連絡が行き届かなかった皆様には、この場をお借りしてお詫びさせていただきます。

——準備段階での苦労話などありましたら。

幹事. 幹事メンバーそれぞれ仕事や趣味、家庭での役割がある中、なかなか集まる事も出来ず、多少意思疎通の面で困難があったかもしれません。また、開催日が近づいてくると、会場との打合せや調整、当日の景品の購入など細かい実務が必要になり、一部の幹事メンバーに負担をかける事もありました。当日、クロークの対応が追いつかず、急遽早く到着した出席者に応援をお願いしたりもしました。これらの苦労も無事終了した瞬間には全て良い思い出になりました。

——さて、会の当日ですが、どのようなプログラムを用意されたのですか。

幹事. 当初考えたプログラムは「開会・先生方入場・乾杯・スライドショー（参加メンバーの画像やクラス写真など）・景品の贈呈（くじ引き）・閉会の挨拶・集合写真撮影」で、限られた時間でもなるべく懐かしい仲間との歓談の時間を多く取ろうという趣旨でした。また、この会だけではまだまだ話し足りない仲間がいる事を想定して、事前に出席を確認の上2次会会場も予約、引き続き盛り上がるように計画しました。



——「還暦」といえば「赤いちゃんちゃんこ」ですが。

幹事. 当初、参加者全員に赤いちゃんちゃんこか、赤いものを身に着けてもらってはどうかなどの意見もありましたが、結局はペアの赤いちゃんちゃんこを準備し、MCや、くじ引きなどの担当者のみが着る形式にしました。全く誰も着ないのも寂しいし、会の象徴的な意味もありましたので、この形式で良かったのではないかと思います。



赤いちゃんちゃんこのMC とくじ引きペア。。。景品の健康器具でこれからも元気で

——会の中でのエピソードなどありましたら。

幹事. 計画では、先生方からご挨拶をしてもらおうと参加者の歓談の時間が短くなってしまったと思い、紹介だけさせていただくつもりだったのですが、当日、先生方から是非一言いわせて欲しいというご希望があり、急遽一言ずつお言葉をいただく事になりました。「60歳はまだ若い、これからやれる事が沢山あるよ。」など、すでに還暦を経た人生の先輩である先生方より暖かいお言葉を多くいただく事ができ、結果的にはとても良いハプニングになりました。また、閉会の挨拶で、突然大正中学出身者の仲間が壇上に集まり、幹事への花束贈呈がありました。嬉しいサプライズでした。



先生方からの一言、「60歳はまだ若い！」
左から、佐々木先生、杉浦先生、牧野先生、太田先生、原木先生、吉井先生



大正中軍団より幹事に花束贈呈

——今回、当時の学級担任や部活動顧問の先生方が出席されたわけですが、先生方のご様子はいかがでしたか。

幹事. 先生方同士も久しぶりに顔を合わせられた事もあり、控室で懐かしそうに歓談されていたのが印象に残っています。参加者と当時の思い出を語り合ったり、当時のあだ名で呼び合ったり、先生方・参加者双方にとって有意義なひとときになったのではないのでしょうか。



先生方と懐かしい
話に花が咲きました



最後は一本締めで

——会を無事終わられて、幹事としてのご感想などありましたら。

幹事. 会を無事終えて、先生方や参加した同窓生から沢山の感想や感謝のお言葉をいただきました。その中で印象に残ったのは、「今、余韻に浸っております。」という感想です。

「余韻に浸る」という表現は、感動や喜びの感情が起きた際、その時の場面や状況、また触れた作品の世界を想像しながら後に残る印象や味わいを楽しむ時に出る気持ちだと思います。余韻に浸れるほど楽しい時間を過ごしてくれたなら大成功じゃないか、余韻に浸った後の感情は恐らくみんなの良い思い出として心に残るのだからそれで充分だ、と幹事一同勝手に思っております。

金井高校在学中は、毎日が同窓会の様なものですから、同級生に会う日々の中で特別な感情になる事はあまりありません。卒業後、たまに開催される同窓会や飲み会でも、「またその内、また次回、会えればいいや」という感覚が強く、それほどの気持ちになる事は少ないでしょう。

60歳にもなり、42年ぶりに同窓生や先生方にお会いすると、色々な感動や喜び、更にはあの頃に戻った様な高揚感が自然と湧き出てきます。この時の感情を少しでも長く味わいたい、仲間と話した高校の頃の思い出に少しでも長く浸っていたいという気持ちの中で、自然と「余韻に浸る」というプロセスをそれぞれが踏んでいたのではないのでしょうか。

今回、同窓生の一人が、「人生、やれるうちにやり、会えるうちに会おう！」とスピーチをしてくれた言葉がとても印象深く心に残っています。

金井高校卒業生の皆さん、同窓会なんて開くのも参加するのも面倒くさいなと思っている皆さん、高校時代の友人・先生方に会いたいなという気持ちが少しでもあれば、是非同窓会を開きましょう。「余韻に浸れる」ほど楽しい時間が待っていますよ。



中山先生、ビデオメッセージ
ありがとうございました



いつまでも元気で美しく



また会いましょう

——楽しいお話や、参考になるお話をいただき、ありがとうございました。

※幹事及びご出席の皆さんのご厚意により、この記事内の写真で被写体となられている皆さんの顔については、すべてぼかし等の処理なしで掲載させていただいております。

今回、同窓会事務局では、第6期生還暦同窓会の開催にあたり、幹事の皆さんより先生方のリストをお預かりし、幹事の方に代わって先生方にご連絡するという形でお手伝いをさせていただきました。結果として多くの先生方にご出席いただくことができ、同窓会としても嬉しく思いました。

*

なお、今回はタイミングが合わずできませんでしたが、同窓会ではほとんどの卒業生の連絡先を把握していますので、SNS等での連絡が難しい会員の皆さんに、事務局から直接、催しの案内を送ることで、幹事さんが同期生の住所などの個人情報を扱うことなく、連絡を取るといったことが可能です。

同窓会としても、こういった機会にできるだけ多くの皆さんが集まることのできるよう、お手伝いができればと思っていますので、特に今回のような大規模な会をお考えの際は、早めにご相談いただければ幸いです。また、転居等で同窓会報が届いていない方や、新たに転居等される方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局までお知らせくださるよう、お願いいたします。